

市勢の概要

1 はじめに

瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、中四国の交通のクロスポイントに位置する岡山市は、明治22年6月の市制施行により、旧岡山藩城下町を中心に、面積5.77 k m²、人口47,564人で発足した。

平成8年4月に中核市に移行し、平成17年3月の御津町・灘崎町との合併、平成19年1月の建部町・瀬戸町との合併により、新「岡山市」が誕生。平成21年4月、全国で18番目の政令指定都市に移行した。

「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山」を都市づくりの基本目標とし、「住みやすさ」「力強さ」「安全・安心」の視点から、「経済・交流」「子育て・教育」「健康福祉・環境」等の様々な分野における重要施策に全力で取り組み、都市の総合力を着実に高めてきた。



市長 大森 雅夫

少子高齢化による人口減少、自然災害の激甚化・頻発化、経済の分野でのグローバル化やAI（人工知能）等の急速な発達、人々の働き方や価値観の変化への対応といった様々な課題にも的確に対応し、市民が愛着と誇りをもっていただけ、活力と魅力あふれるまちづくりを進めていく。

教育に関しては、平成19年4月に「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例」（愛称：岡山っ子育成条例）を施行し、家庭・学校園・地域社会・事業者及び行政が協働して、自立に向かって成長する子どもの育成の推進に向けて取り組んでいる。

子どもたちを取り巻く様々な環境の変化や課題に対応するため、「岡山市第六次総合計画後期中期計画」との整合を図りつつ、令和4年3月に「第3期岡山市教育振興基本計画」を策定し、教育行政のより一層の充実を図っているところである。

また、平成27年度に教育課題の解決に向け、教育委員会との連携を深めた取組を行うため設置した総合教育会議で、岡山市の教育の現状と課題、目指す方向性等について協議を重ね、平成29年2月に第1期岡山市教育大綱を、令和3年3月に第2期岡山市教育大綱を策定し、岡山市を挙げて学校教育の変革にチャレンジしている。

2 岡山市の地勢

岡山市は、面積789.95 k m²という広域の都市である。

地形的には、旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置し、北部は吉備高原に連なる山並みが、南部は地味豊かな平野が広がっている。水と緑あふれる豊かな自然環境と温暖で晴れの多い気候や自然災害の少なさとが相まって、美しさと暮らしやすさを兼ね備えた都市である。

3 人口・世帯数の推移

（各年12月末現在、令和7年は3月末現在）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
世帯数	330,998	333,913	334,975	337,895	340,016	342,192	342,220
人口	708,973	708,155	704,487	702,020	698,671	695,690	693,219